



園 だ よ り

令和7年6月号 認定こども園 長者幼稚園

Tel 45-1941 fax 45-1943

ホームページ <http://choja-youchien.com/>

2025/5/30発行



バイバイと魂振り



園 長 田 村 元

『バイバイ』は、英語の“bye-bye”から来ているあいさつ語で、別れのあいさつとして使われています。当園でも降園時にはこども達が「先生、みなさんさようなら、バイバイ」と元気よく手を振り合います。なんと赤ちゃんでも生後9ヶ月ごろには、話すことはできなくても「バイバイ」は日常よく使われる言葉やしぐさとして理解し、反応するようになるのだそうです。「さようなら」よりもカジュアルな印象を受ける『バイバイ』ですが、もとは英語で“God be with you”（「神があなたと共にありますように」）が語源で、それが変化して“Good-bye”、それがまた短くなって「バイバイ」になったというものがあり、私はその由来を支持しています。なんと、さらにバイバイと手を振るのは日本古来の文化から発展したものだという話があります。「相手を思って手を振ることで、相手の心（魂）もまた自分のところに来てくれる」という思いが時代を超えて広がったというのです。なんと万葉集の中に愛おしい相手と別れる時は手（袖）を振って別れるという箇所があるのだそうです。手や袖を振る行為は、魂振り（たまふり）といい、おまじないの一種として扱われていました。神社でお詣りをする時に柏手を打ったり鈴を鳴らしたりすることも魂振り（たまふり）であり、神様を呼び起こし、その魂に敬意を表し活力を与える儀式のしぐさなのだそうです。日本人が「いってらっしゃい、バイバイ」と手を振るのは、「このあともあなたが楽しく過ごすことができますように」「あなたが無事に帰路につきますように」という見送る側の気持ちが魂振りのしぐさとして表現されてきたものなのでしょう。



何気なく行っている動作にも思いやりの心が秘められている「バイバイ」。さようならに比べて少しこどもっぽいともいわれますが、『バイバイ』と『さようなら』を両方使い分けることができるこども達が大好きです。

※イラスト使用：ほらほらたん氏 2025 ぬるくま無料イラスト素材より



おおきくそだってね



書き方教室開始



根城城趾にいったよ



わんぱくの森であそんだよ

《 おかげさまで20000アクセス突破 》

こども達の日々の活動のようすをブログで配信しています。

ホームページ <http://choja-youchien.com/> にアクセスするか右のQRコードを読み取りアクセスしてください。

